



**Global
Platform™**



GlobalPlatform アニュアルレポート 2024年版



目次

Letter from the Chair of the Board	02
Letter from the Executive Director	03
Building the Foundation of Digital Security for 25 Years	04
Who is GlobalPlatform	06
Why GlobalPlatform?	09
GlobalPlatform Technology	10
Our Work	11
Our Services	22
Member Companies and Organizations	25
Industry Partners	26

理事長からのメッセージ

今年、GlobalPlatformは創立25周年を迎えます。GlobalPlatformはこれまで四半世紀にわたり、世界中で使われる何十億個ものデバイスの通信を安全で信頼できるものとするためにセキュアなデジタルサービスの標準化を先導してまいりました。

今年もまた、新しい市場に向けた活動の加速と、進化し続けるテクノロジーニーズや要件を満たす規格の開発という点で、GlobalPlatformの歴史にとって重要な年となりました。以下に今年の主な成果の一部をご紹介します。

主な成果

- **SESIP** (IoTプラットフォームのセキュリティ評価基準) が欧州規格 (EN 17927) として批准されたことは、SESIPが幅広く普及するきっかけとなりました。今ではIoTセキュリティ評価の国際標準として認められたSESIPは、部品メーカーや業界団体、セキュリティ研究所、その他ステークホルダーの大規模なコミュニティから支持を集めています。普及が進む中でGlobalPlatformは、SESIP手法とその応用の理解を深めてもらうため、製品ベンダー、規制当局、およびスキーム所有者向けに包括的な**SESIPトレーニングコース**を立ち上げました。そして今年、**NIST 8425、UNECE WP.29、RED prEN 18031、ISO/SAE 21434**に対するSESIPセキュリティ要件のマッピングを公開しています。
- EUは、国境を越えた欧州デジタルウォレット (**EUDI**) の導入を進めることを承認しました。GlobalPlatformは、EU加盟国とスマートフォンベンダーの双方がGlobalPlatformのセキュアな技術に基づいたスキームを実装できるように、さまざまな新しいソリューションを導入しています。GSMAおよびENISAと共同で、セキュアエレメントのための**SAM (モバイル用セキュアアプリケーション)** モデルを開発するとともに、EUCC (欧州委員会サイバーセキュリティ認証制度) のセキュリティ評価ガイドラインに沿った**CSP (暗号化サービスプロバイダー)** 規格の開発も推進しています。
- さらに、**SAE (自動車技術者協会)** のJ3101規格との調和を図り、セキュアなソフトウェア定義型自動車の基盤を構築するためSAEと提携するなど、自動車のユースケースにおけるGlobalPlatformテクノロジーの応用も大きく前進しました。
- 5月には、セキュアエレメントのため標準化された新たな**セキュアチャンネルプロトコル**のリリースを発表しました。これは、制約のあるIoTデバイスや低消費電力ネットワークでのリモートアプリケーションとファイル管理を可能にするもので、NB-IoTなどの低消費電力規格ベースのデバイスにおけるネットワークと帯域幅の制約を克服するのに役立ちます。

- **CENELEC TC 47X、FiRaコンソーシアムならびにWPC (ワイヤレスパワーコンソーシアム)** との間でリエゾン契約を締結したことは、GlobalPlatformテクノロジーの重要性が増していることを象徴しています。

こうした継続的な進歩は、成長が続く多様なメンバー間における協力の精神と、セキュア・テクノロジーの世界的な普及に向けてGlobalPlatformが開発した堅牢なフレームワークの証だといえましょう。この協力的なアプローチを通して私たちは、進化し続けるデジタル環境の中において、常にその中核にある信頼およびセキュリティから目をそらすことなく、イノベーションを推進し続けます。



Stéphanie El Rhomri

Stéphanie El Rhomri
理事長

エグゼクティブ・ディレクターからのメッセージ

GlobalPlatformは25年の長い道のりを歩んでまいりました。しかし、私たちの使命は変わりません。それは、デジタルサービスとデバイスのため、セキュアで相互運用可能なインフラストラクチャを確立し、維持することです。接続が進む世界において、この新たな時代における成功は、標準化された信頼できるテクノロジーの可用性にかかっています。ステークホルダーが革新的なデジタルサービスを効率的かつ効果的に提供できるよう、私たちは引き続き、デバイスの信頼性とセキュリティを高める新たなイニシアチブの推進に取り組んでいます。

当団体は、メンバーおよび業界パートナーとのコラボレーションを通じて、急速に拡大するデジタルエコシステムの進化するニーズを満たすために、新たなセキュリティ・テクノロジーとベストプラクティスの普及に努めています。今後1年の重点分野には以下が含まれます。

2025年の戦略的イニシアチブ:

EUDIウォレットを実現するためのデジタルIDエコシステムのセキュリティ保護: SAM (モバイル用セキュアアプリケーション) 要件に関するGSMAとのコラボレーションの成功に続き、現在は**CSP (暗号化サービスプロバイダー) 規格**に焦点を当てています。これは、スマートフォンベースのウォレットに対し、高い保証レベルでサードパーティのデジタルIDアプレットを認証する簡単な方法を提供するものです。EUDI (EUデジタル・アイデンティティ) ウォレットの導入が視野に入らる中で、eIDウォレット・タスクフォースは、ステークホルダーらと協力して展開モデルを定義し、専用のトレーニングプログラムの立ち上げも含め、セキュアエレメント・テクノロジーに基づいたテクノロジー・ロードマップを設定すべく作業を続けています。また、当団体は、SIDI (持続可能で相互運用可能なデジタル・アイデンティティ) Hubイニシアチブへの参加を通じて、欧州という境界を超え、国際的な相互運用性に向けた取り組みを拡大しています。

金融サービスの未来: DX (デジタル・トランスフォーメーション) が金融界に影響を与える中、GlobalPlatformはデジタル通貨にセキュリティをもたらす、新たな決済時代をもたらすバイオメトリクスによる認証を可能にすることに焦点を絞っています。

コネクテッドカーの実現: GlobalPlatformは、SAE (自動車技術者協会) やAUTOSARとのコラボレーションを通じて自動車セクターにおけるセキュアコンポーネント、信頼できるデジタルアーキテクチャ、セキュリティAPIの導入を加速します。

セキュアIoTの拡大: 当団体は、新たな市場やユースケースでのSESIPの導入を加速しています。これには新たなパートナーシップ、ラボと認証機関 (CB) 数の拡大、アダプター・プログラムの立ち上げなどが含まれます。また、新たな隔離環境や技術をサポートする取り組みも拡大しています。

新たな規制をサポート: 私たちは、シンガポールのサイバーセキュリティ庁 (CSA)、欧州連合サイバーセキュリティ庁 (ENISA)、米国国立標準技術研究所 (NIST) などの規制当局と協力して、新たに導入される規制をGlobalPlatformテクノロジーがサポートできる方法を検討しています。当団体の標準は、CSAのサイバーセキュリティ・ラベリングスキーム (CLS)、EUサイバーレジリエンス法、米国サイバー信頼マークプログラムなど、新たに導入される規制や法律への準拠を簡素化します。

量子時代に備える: 今後数十年の間に、数十億個のデバイスがPQC (耐量子計算機暗号) に移行する必要が出てきます。GlobalPlatformは、PQCの進化に合わせた高いレベルのセキュリティを確保するため、メンバーと協力して移行計画を策定しています。

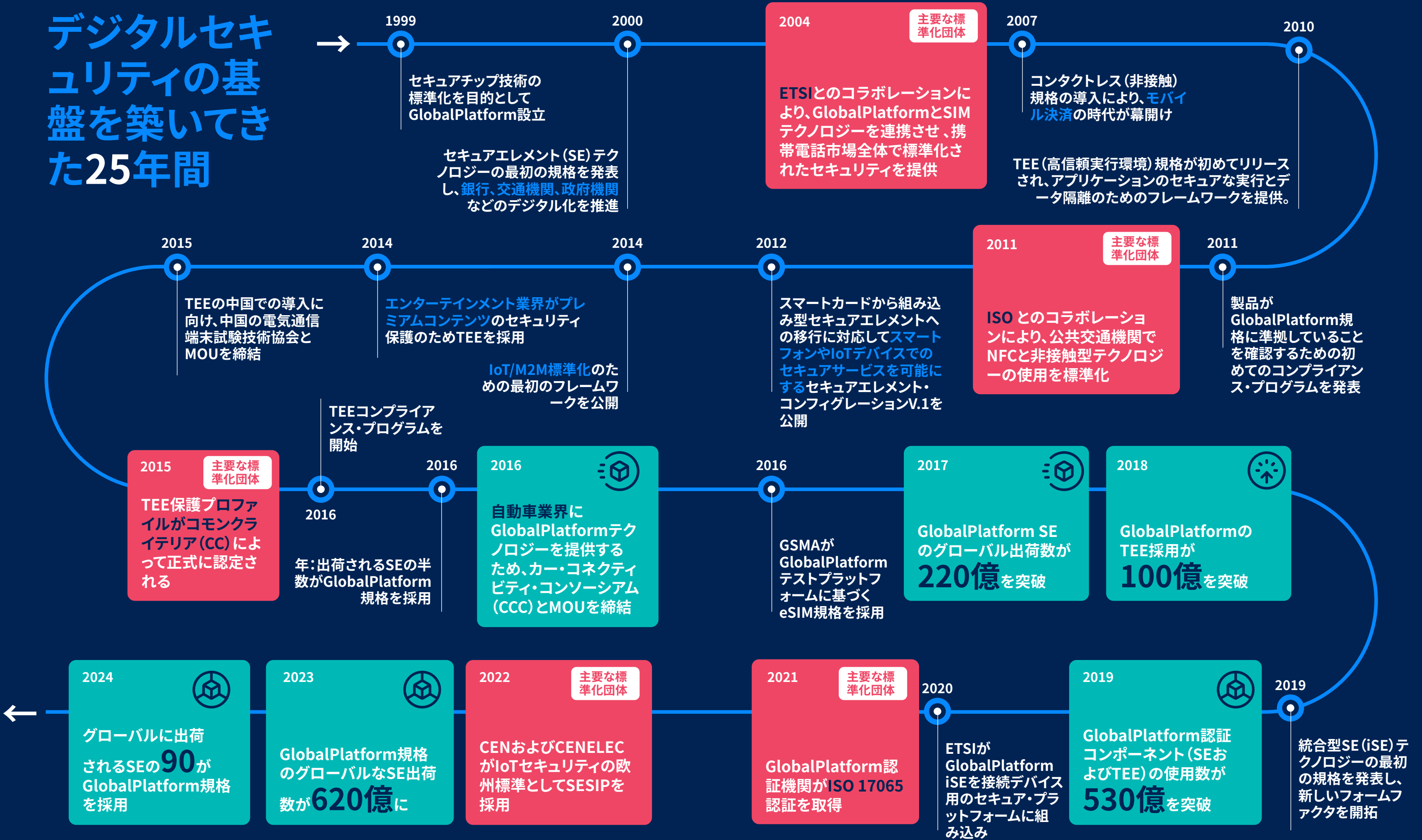
新たなセキュリティ要件に対応するため当団体が行っている活動内容をぜひ詳しく知っていただき、セキュアで信頼できるデジタルサービスとデバイスの実現に向けて私たちとともに標準規格を開発していきましょう。ますます相互接続が進む世界でともに安全を確保するには、幅広い業界の協力が必要なのです。



Ana Tavares Lattibeaudiere

Ana Tavares Lattibeaudiere
エグゼクティブ・ディレクター

デジタルセキュリティの基盤を築いてきた25年間



GlobalPlatform とは

エグゼクティブチームは、GlobalPlatformの技術規格の開発と普及、当団体の業務に対する認識と理解の促進、日常業務の管理に責任を持ちます。



**Ana Tavares
Lattibeaudiere**

Executive Director



Gil Bernabeu

Chief Technology Officer



Tono Aspinall

Operations Director



Francesca Forestieri

Automotive Lead



Bonnie Martin

Operations Manager

メンバー主導の組織であるGlobalPlatformは、フルメンバー企業代表者11名で構成される理事会によって運営されています。取締役会は、GlobalPlatformのビジョンとミッションに沿った戦略を策定し、その実行を監督します。



**Stéphanie El
Rhomri**

GlobalPlatform Chair,
FIME



**Olivier Van
Nieuwenhuyze**

Vice Chair,
STMicroelectronics



Claus Dietze

GlobalPlatform
Treasurer and
Secretary, Giesecke
+ Devrient Mobile
Security
 Giesecke+Devrient



Rob Coombs

ARM



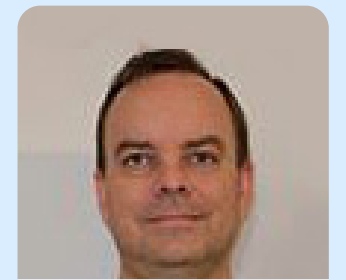
Eikazu Niwano

NTT Corporation



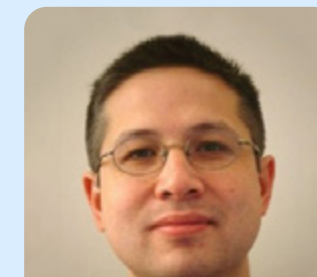
Sebastian Hans

Oracle



**Jeremy
O'Donoghue**

Qualcomm



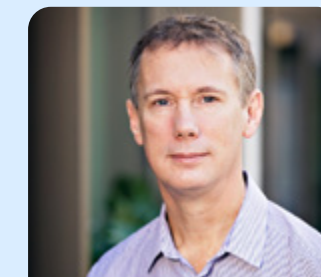
Guillaume Phan

Thales



Scott Migaldi

T-Mobile USA



Richard Hayton

Trustonic

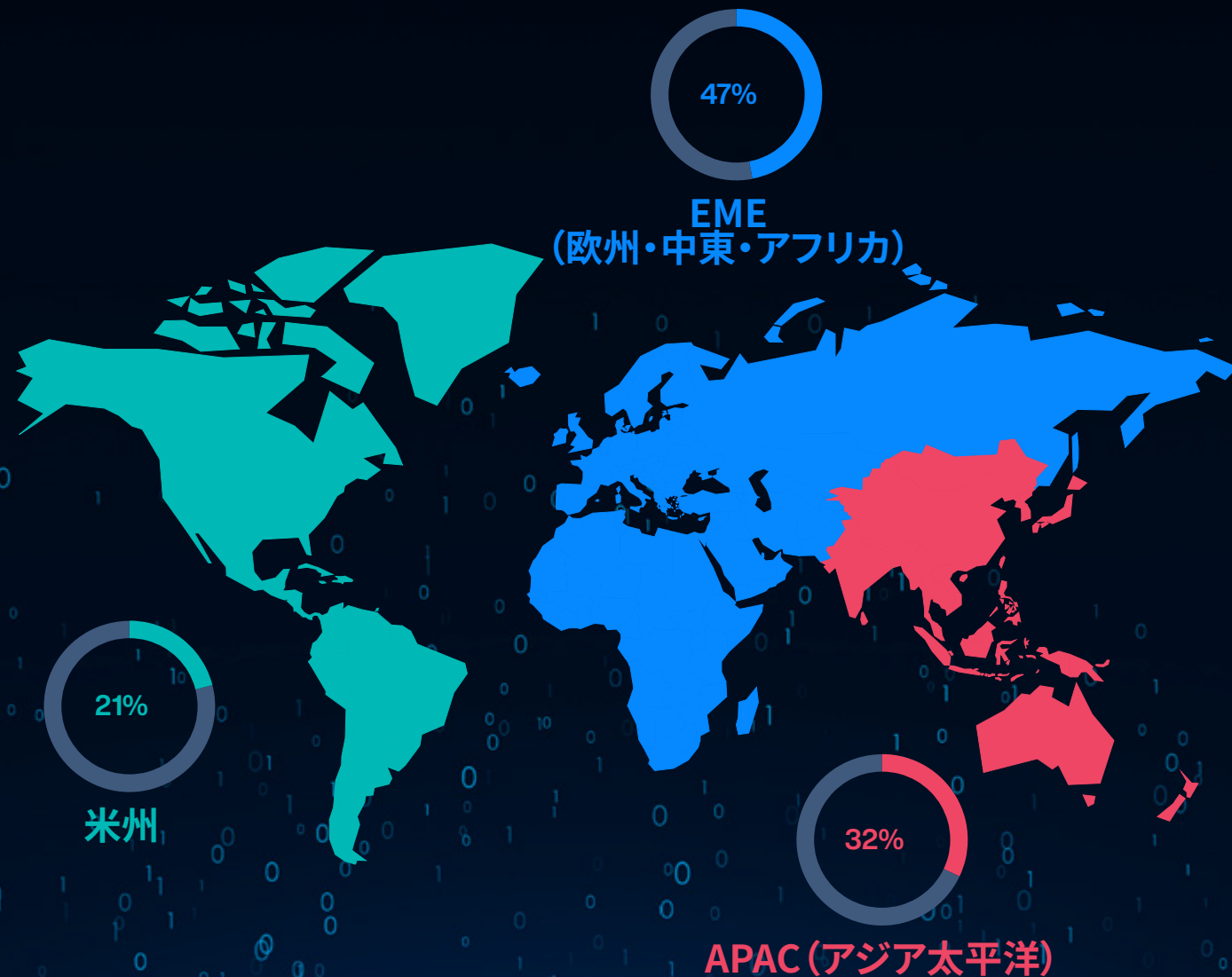


Marc Kekicheff

Visa Inc.



メンバー企業の地理的分布



GlobalPlatform について

常に将来のデジタルセキュリティ要件に備えて進化

GlobalPlatformはこの25年間、セキュアなデジタルサービスとデバイスの実現に向けて規格の開発と改良を行ってきました。

デジタル化によってさまざまな業界が変化し続ける中、GlobalPlatformは、デバイスメーカーとサービスプロバイダーが同じセキュリティ・フレームワークを使用して異なるデバイスやシステム間でも検証済みレベルの堅牢なセキュリティを確保できるようにします。高度にスケーラブルなこのアプローチを使えば参入障壁が低くなり、認証の断片化が回避されるため、OEMやサービスプロバイダーはイノベーションの提供に集中することができます。

業界主導のコラボレーションを通じたイノベーションの推進

世界中の多様な企業や業界を代表するメンバー主導の標準化組織である当団体のメンバーは、標準化されたテクノロジー開発のために協力しあい、ますます相互接続が進む世界において革新的で「セキュア・バイ・デザイン」なデジタルサービスやデバイスの効率的な導入と管理を可能にするため、努力しています。テクノロジーが進化し続け、新たな垂直市場が影響を受ける中、当団体の作業を支えるのは主要な業界パートナーとの連携です。今年、CENELEC TC 47X、FiRaコンソーシアム、WPC (ワイヤレスパワーコンソーシアム) との間でリエゾン契約を締結しました。

業界中心。メンバー主導

- メンバー主導の非営利技術団体
- サービスプロバイダーとデバイスメーカー間のコラボレーションを実現
- グローバルなサイバーセキュリティ規制に準拠し、デバイスを脅威や攻撃から保護するために十分なセキュリティを徹底するための標準化されたフレームワーク
- エンドユーザーへのセキュアなデジタルサービスを可能に

新的行业合作伙伴:



Semiconductors and Trusted Chips



WIRELESS POWER
CONSORTIUM

GlobalPlatformテクノロジー

セキュアコンポーネントの標準化とセキュリティ評価の最適化

GlobalPlatformの業務の中核は、セキュアコンポーネント技術の標準化です。このセキュアコンポーネントは、さまざまな実行環境で信頼できるアプリケーションを配布および管理し、多様なセキュリティ要件を満たすために、ハードウェア、ファームウェア、およびRoT (Root of Trust: 信頼の基点) を組み合わせたプラットフォームとして提供されます。最高レベルの保証を満たすために、GlobalPlatformはセキュアエレメント (SE) を、取り外し可能、組み込み可能、または統合可能なタンパーレジスタント (改ざん防止) 環境と定義しています。中レベルのセキュリティとより高い計算能力を必要とする市場向けには、メインデバイスプロセッサ上の隔離された実行環境として TEE (Trusted Execution Environment : 高信頼実行環境) を定義しています。

GlobalPlatformの規格は、最新のセキュリティ脅威、規制、および半導体開発に対応して継続的に進化しています。例えば、GlobalPlatformは現在、セキュリティレベルが限定的ないし中程度の新しい実行環境を提供する隔離環境を調査中です。さらに、GlobalPlatformは最新の暗号技術導入において先陣を切り、新しいアルゴリズムをレビューするとともに、ラボのセキュリティ評価のための攻撃方法を定義しています。GlobalPlatformは、サイバーセキュリティにおける規制の変化に対応するため、各国機関と常にコミュニケーションを取っています。

GlobalPlatformテクノロジーは、金融、政府、通信セクターなどに加え、セキュアな接続性にますます依存するようになっている新たな業界も含めて、さまざまな業界で採用されています。こうした幅広い普及によって、一般的なセキュリティ要件に基づいてマスマーケット製品を確立し、信頼できるアプリケーションやアプレットに携帯性と相互運用性を提供することが可能になっています。

グローバル規模でのサービスの相互運用性を成功させるために、GlobalPlatformの機能およびセキュリティ認証プログラム開発がこれまでも重要な役割を果たしてきました。コネクテッドデバイス向けにGlobalPlatformは、CENおよびCENELEC (EN 17927) によって欧州規格として認められている SESIP (IoTプラットフォームのセキュリティ評価基準) 手法を合理化しています。SESIPは、セキュリティ認証デバイスコンポーネントの再利用と構成を最適化します (つまり、一度認証するだけで、複数の市場で利用可能です)。

今日、世界のSIMカード、クレジットカード、IDカード、ePassport、スマートフォン、デバイスプロセッサの大部分は、GlobalPlatformのテクノロジーに依存しています。

Secure Element (SE)

A tamper resistant execution environment, removable, embedded or integrated

Trusted Execution Environment (TEE)

An isolated execution environment in the main chip of the device

Isolation Technologies

New technologies that create isolated execution environments

金融サービス

家電製品

自動車

ID

健康管理

公益事業

モバイル

スマートシティ

物流

私たちの活動内容



GlobalPlatformの標準化テクノロジーと認証は、技術委員会と各タスクフォース間の業界横断的なコラボレーションを通じて開発されています。この作業を先導するのは、業界および規制機関と協力して働く多様なメンバー企業です。



Our Committees

Where technology is developed to address emerging market requirements and innovations

Secure Element Committee

Working Groups
SE Security
SE Specification
SE Compliance

SESIP Committee

Working Groups
Ecosystem Adoption
Governance
Technical

TES Committee

Working Groups
TES Services
TES Compliance
TES Attack Groups
TES Labs

Our Task Forces

Where requirements are gathered to determine impact to our technology roadmap

Automotive Task Force

Security Task Force (Crypto & SBOM)

eID Wallet Task Force

Regional Task Forces China

Regional Task Forces Japan

セキュアエレメント (SE) 委員会



委員長:
Guillaume Phan
タレス

THALES

ミッション

SE委員会は、セキュアエレメント (SE) テクノロジーを使った組み込み型アプリケーションをセキュアに相互運用可能な形で導入・運用するため、業界および技術を問わない規格を定義します。これには、組み込み型および統合型SE、SIM/UICC、スマートmicroSD、スマートカードが含まれます。

主な活動と成果

- **SAM (Secure Application on Mobile: モバイル用セキュア・アプリケーション)** — SAM規格は、eUICC上で信頼できるアプリケーションを展開および運用するための新しい機能を定義するものです。今年、SAMコンフィグレーションv1.0を公開しました。
- **CSP (Cryptographic Service Provider: 暗号サービスプロバイダー)** — CSPは、SEに組み込まれた認証済みライブラリに機密性の高い暗号操作を委任することにより、高レベルの保証を備えたサードパーティのデジタルIDアプレットをセキュアかつ簡単に認証する方法を提供します。CSP規格は現在開発中です。
- **PQC (Post-Quantum Crypto: 耐量子計算機暗号)** — 将来のPQC移行に備えて、アジャイルな新規プロトコルを作成しています。
- **ID文書のオペレーティングシステムの更新** — ID文書にオペレーティングシステム (OS) の更新を広く導入するための標準化されたスキームを定義します。
- **保護プロファイルの更新** — CC:2022およびEUCC (欧州共通基準に基づく欧州サイバーセキュリティ認証制度) の導入に重点を置きつつ、市場および規制の要求に対応します。
- **IoT / 自動車** — SPIおよびI2C準拠、リモート管理のためのCoAP/DTLSサポート、J3101サポートなどを含め、IoTデバイスにおけるRoTのためのSEテクノロジーを強化します。
- **FIDOアライアンス** — FIDOオーセンティケーター・レベル3+の認証要件に対応するSE保護プロファイルを強化するためのコラボレーション。



SEを介したEUDIウォレット実装のサポート

GlobalPlatformは、EUDIウォレットスキームのSE規格を最適化することで、EU加盟国が市民のアイデンティティと関連データをより適切に保護できるよう支援しています。GlobalPlatform SEは、取り外し可能SIMカード (UICC)、組み込みセキュアエレメント (ESE)、組み込みSIM (eUICC)、および統合SIM (iSIM) など、スマートフォンのさまざまなフォームファクタで幅広く採用されています。GlobalPlatform SEは、今日のスマートフォンの大多数にすでに組み込み済みのテクノロジーを使用することで、欧州全体に新しいデジタルエコシステムの基盤を提供し、政府や業界に新たな収益機会をもたらします。

✓ SESIP (IoTプロトコルのセキュリティ評価基準) 委員会 (2ページ)



共同委員長:
Georg Stütz
NXPセミコンダクターズ



共同委員長:
Philippe Gaudillat
STマイクロエレクトロニクス

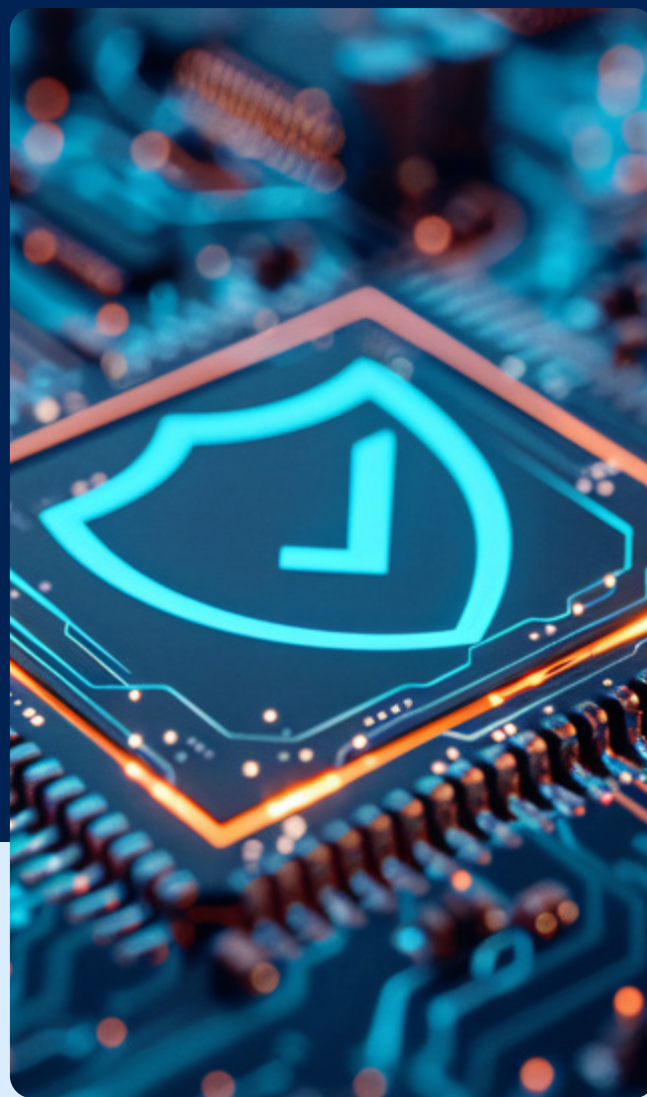


ミッション

進化し続けるIoTエコシステムには、特有のコンプライアンス、セキュリティ、プライバシー、およびスケーラビリティの課題があります。SESIPは、それに対応しようとするコネクテッド製品のコンポーネントとプラットフォームのセキュリティ評価において、最適化された共通のアプローチを提供します。

SESIPは、OEMとコンポーネントメーカー、およびエコシステム全体のセキュリティ評価を簡素化する、世界的なマルチ業界スキームです。新たに設立されたSESIP委員会の目的はその普及と認識を促すための戦略を設定し、必要なイニシアチブを提供することです。

本委員会の主な焦点は、規制当局およびセキュリティ評価エコシステムに働きかけ、SESIP手法の価値と応用、および将来の要件について議論することです。



サイバーレジリエンス法 (CRA) 導入をSESIPで簡素化

間もなく施行されるサイバーレジリエンス法では、デジタル市場とビジネス全体にわたってサイバーレジリエンスを強化することを目的とした新たな規制が導入される予定です。進化を続ける規制環境に適応するには、多くのリソースを必要とする多面的な課題を克服する必要があります。SESIPは、既存の規制との整合性を促進することでこのプロセスを合理化し、包括的な評価のための単一の基準点として機能します。

SESIP委員会は、サイバーレジリエンス法の要件に対するSESIP手法のマッピングを優先しています。また、CRA SESIP保護プロファイルも作成しています。

主な活動と成果

SESIPは、IoTセキュリティコンプライアンスのための国際的に認められた規格、EN 17927です。

SESIPは急速に、国際的に認知されたセキュリティ評価基準となりました。セキュリティプロバイダー、業界団体、セキュリティラボ、その他のステークホルダーなど大規模なコミュニティによって支持され、支持団体はさらに増えつつあります。SESIP (EN 17927) は、GlobalPlatformのグローバルな大規模セキュリティエコシステムによってサポートされており、消費財、自動車、医療技術、製造市場のOEMによって使用されています。

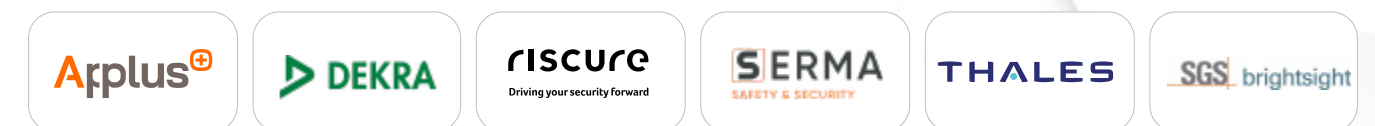
SESIP-certified products include:



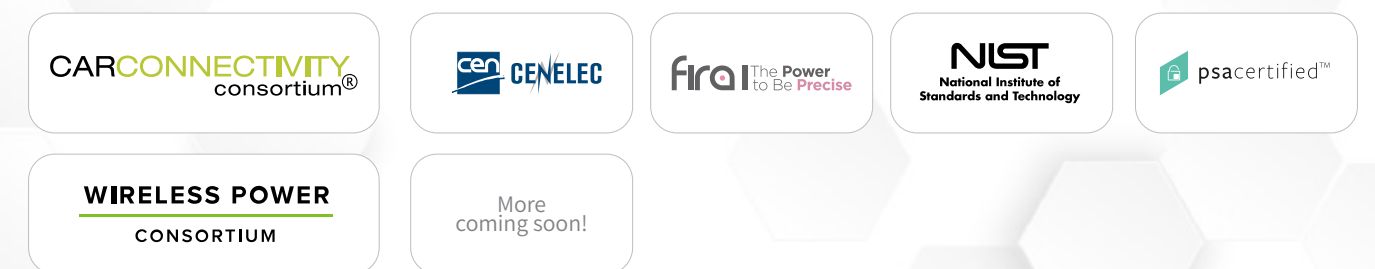
GlobalPlatform SESIP Certification Bodies:



GlobalPlatform SESIP-Licenses Laboratories:



SESIP is recognized and referenced by:



Compliance

Provide evidence of compliance to the latest regulatory developments such as RED, CRA, US Trust Mark, Singapore CSA CLS, EN303645, FDA, IEC 62443, ISO 21434 and more.



Risk Management

Access a powerful toolbox to map product security features and demonstrate targeted levels of robustness against different risk levels and risk profiles.



Differentiation

Demonstrate a product's core security capabilities as a key market differentiator – set your product apart from the market.



SESIPは今や幅広いステークホルダーに使用されているため、GlobalPlatformは「SESIP Adopters」コミュニティを作成しました。これは、非会員にSESIPの最新の開発状況を知らせ、関連技術文書へのアクセスを提供し、参加企業が自社の認証製品やSESIP対応を紹介できるようにするものです。

TES (高信頼環境 とサービス) 委員会



委員長:
Richard Hayton
トラストニック

TRUSTONIC

ミッション

隔離プラットフォーム関連文書の作成と維持。

隔離プラットフォームが提供するプラットフォームサービスへのアクセスをデバイス内からも外部のプラットフォームからも可能にするメカニズムを提供。

技術仕様への準拠やセキュリティ認証プログラムを含み、高信頼実行環境アーキテクチャの定義および維持。

主な活動と成果

新たに設立されたTES委員会は、従来のTEE委員会とTPS委員会の作業を統合し、ハードウェアで保護されたサービス実行可能「環境」と、それらサービスの定義の双方に焦点を当てています。

当委員会は、TEEの伝統を継承し、APIとTEEの保護プロファイルの標準化を引き続き担当する一方で、TPM、HSM、MARなど同様の環境も幅広く検討します。これは、さまざまなセキュア隔離プラットフォームを通して一貫したセキュリティアプローチが必要とされるようになっていくことを反映したものです(自動車業界など)。同様に、サービスを検討する際には、TEEやその他の信頼できるプラットフォーム上で実行できる水平的サービスおよび業界の垂直的サービスの双方を検討します。

自動車タスクフォースのモメンタムもあり、また、SAEとも連携していることから、おそらく自動車分野が中心となるでしょう。



テクノロジーの進歩に伴い、データセキュリティとプライバシーに関する新たな要件が次々と出現しています。

GlobalPlatformは進化し続ける要件に対処するため、TEE委員会とTPS委員会ですで行われた作業を新しいTES(高信頼環境&サービス)委員会に統合して、セキュアな隔離プラットフォームをより幅広くカバーし、保存データと使用中のデータを保護するメカニズムを提供します。

TES委員会は幅広い分野で垂直セクターの問題やユースケースに直接対処するサービスを定義し、さまざまなセキュアプラットフォームに対して堅牢なセキュリティを実現します。自動車とAIは、当委員会が最初に取り組んでいる2つのユースケースです。

eIDウォレット・タスクフォース



委員長:
Jean-Daniel Aussel
タレス

THALES

ミッション

eIDウォレット・タスクフォースの目的は、GlobalPlatformテクノロジーがセキュリティ、プライバシー、フリクションレスな実装などを含み(特にそれら全体にわたり)一定の役割を果たすことができるデジタルIDウォレットのユースケースを特定し、対処することです。

主な活動と成果

eIDウォレット・タスクフォースの主な焦点は、大規模IDおよびeID実装を推進している欧州連合およびその他の政府による継続的なイニシアチブをサポートするための要件を特定することです。私たちは以下に焦点を当てています:

- セキュアなIDイニシアチブをサポートするために、SE、TEE、デバイストラストアーキテクチャなどのGlobalPlatformテクノロジーの利点を促進する
- デジタルIDソリューションと進化し続ける規制に対応する、新たな変更や規格を開発するために、GlobalPlatform技術委員会にハイレベルな要件を提供する
- IDに関するビジネス要件の分析、特定、および位置付けを行い、開発者がセキュアなIDサービスをホストするセキュアコンポーネントの機能を活用できるようにする
- 例えば、セキュリティアンカーのホスティングを組み込み型SIMと組み込み型SEで行う場合など、GlobalPlatformテクノロジーに基づくデジタルIDウォレットのさまざまな展開モデルの利点を提案・比較する
- 規制当局、政府、ID関連組織と連携して、セキュアなIDソリューションの開発において進化し続けるニーズをGlobalPlatformテクノロジーが満たす方法を検討する



SIDIHub

GlobalPlatformは、デジタルIDで活動する多くの主要な非営利団体とともに、**SIDI(持続可能で相互運用可能なデジタル・アイデンティティ)ハブ**を立ち上げました。

このイニシアチブの目的は、デジタルIDの国境を越えた相互運用性を達成するために何が必要かを定義し、国境を越えた相互運用性の意味についての共通理解を促進して、成功に向けた共通のアプローチとロードマップを定義することです。

SIDIハブは、政府、NGO、標準化団体、民間法人、多国間機関、学術機関が、共通のロードマップの下で協力するコミュニティです。

自動車タスクフォース



委員長:
Richard Hayton
トラストニック

TRUSTONIC

ミッション

ソフトウェア定義型自動車サービスのセキュリティ確保。

主な活動と成果

GlobalPlatformの目標は、ソフトウェア定義型自動車に対応し、標準化されたセキュリティサービスの共通セットを開発することです。そのため、私たちは、SAE (自動車技術者協会) インターナショナル、AUTOSAR、CCC (カー・コネクティビティ・コンソーシアム)、Auto-ISACらと協力して、将来のユースケースに向けて進化する共通要件を調整しています。

私たちはまた、SAEと連携して、GlobalPlatformのセキュアエレメント (SE) およびTEE (高信頼実行環境) の既存のセキュリティ規格が、地上車両のハードウェア保護セキュリティ環境に対するSAEのJ3101推奨プラクティスと非常に整合することを実証できています。私たちは、J3101に準拠した自動車用キースタ・アプリケーションの開発を評価しています。さらに、MCUの自動車用TEE要件や、自動車用HSMに代わるSEの位置付けについても検討しています。

また、GlobalPlatformがAUTOSARの上位ソフトウェア層にどのようにセキュリティサポートを提供するか、またGlobalPlatformテクノロジーとAUTOSARの暗号API間の統合のデモンストレーションの有用性をマッピングすることにも注力しています。

さらに、SESIPがサイバーセキュリティに関するUNECEの規制155と156のエビデンス作成を支援する能力を検討しています。また、車両サイバー攻撃の各段階を分析し、攻撃の目的と方法を決定、防御システムを評価した上で、適切な防御策を開発しています。



Cybersecurity Vehicle Forum

この1年、当団体は中国、ドイツ、日本、米国でサイバーセキュリティ・ビークル・フォーラムを開催してきました。当団体がAutoTech: デトロイトと並行して6月に開催した最新イベント、サイバーセキュリティ・ビークル・フォーラムでは、自動車完成車メーカー、Tier 1自動車サプライヤー、SoCおよび半導体企業の代表者が参加し、大成功を収めました。

GlobalPlatformのCTO (最高技術責任者) であるGil Bernabeuと自動車リードのFrancesca Forestieriは、ESCAR USAおよびAutoTech: デトロイトで自動車タスクフォースを代表して講演し、GlobalPlatform規格とSAEのJ3101との整合性について説明しました。

セキュリティ・タスクフォース



委員長:
Olivier Van Nieuwenhuyze
STマイクロエレクトロニクス

ST life.augmented

ミッション

セキュリティ・タスクフォースは、政府や規制当局と協力して、GlobalPlatformのテクノロジーに影響を与える暗号化、アルゴリズム提案、セキュリティ要件の新たなトレンドを監視し、特定します。このタスクフォースは、暗号とSBOMに焦点を当てた2つのサブタスクフォースと緊密に連携しています。セキュリティ・タスクフォースはまた、GlobalPlatformのセキュリティ理念を定義し、技術委員会に方向性を示します。

主な活動と成果

- 外部のセキュリティ組織と連携して、広範なユースケースと市場セクターのセキュリティ要件がGlobalPlatform規格に組み込まれるようにする
- セキュリティ理念、暗号化、認証、適用性について、GlobalPlatform技術委員会に助言する
- 政府機関およびそのセキュリティ専門家とのコラボレーションを促進し、市場要件を定義する
- モノのインターネット (IoT) のためのセキュア・テクノロジーを特定し、分類する
- 暗号サブタスクフォースを通してGlobalPlatformの暗号アルゴリズム推奨表を維持・更新する



暗号サブタスクフォース



委員長:
Beatrice Peirani
タレス

THALES

ミッション

暗号サブタスクフォースの目的は、GlobalPlatformテクノロジーで使用される暗号メカニズムを評価し、推奨事項を提供し、暗号化のトレンドとテクノロジーの進化に合わせて高いレベルのセキュリティを確保することです。

主な活動と成果

暗号サブタスクフォースは、PQC (耐量子計算機暗号) に関連するいくつかのトピックの集約に焦点を当て、このトピックに関する完全なビューを構築して、GlobalPlatform技術委員会がPQCを規格のアップデートに組み込めるようにします。これには、量子コンピューティングの脅威、GlobalPlatform規格への影響、さまざまなソリューション (暗号アジリティとハイブリッド暗号など)、規制機関の推奨事項、最先端の標準 (主にNIST PQCプロジェクト) 、および戦略に関する推奨事項が含まれます。この目標を達成するために、私たちは、メンバー並びにETSI、IETF、ANSSI、BSI、NISTなどいくつかの標準および国内組織と協力しています。

私たちの作業は、プロトコル規格の暗号の俊敏性を可能にするセキュアチャンネルプロトコル「04」の更新においてSE委員会をサポートしてきました。セキュアチャンネルプロトコル「11」から新しいクリプトアジャイルおよびPQC対応SCP12まで同様の作業が開始しています。



ソフトウェア部品表 (SBOM) サブタスクフォース



委員長:
Laurent SUSTEK
マイクロエレクトロニクス



ミッション

SBOM (ソフトウェア部品表) タスクフォースの目的は、SBOM実装の影響を分析し、ガイダンスを提供することです。

主な活動と成果

SBOM (ソフトウェア部品表) サブタスクフォースは、SBOMの影響を分析し、ソフトウェアの透明性と保証情報の一貫した作成・使用・交換方法などを含め、SBOMの展開に関するガイダンスを提供しています。また、SESIP委員会と共同で、新たな規制の導入に伴ってソフトウェア開発者が直面する課題について論じ、SBOMが今後いかにソフトウェアユーザーに透明性を提供する手段になっていくかを検討するホワイトペーパーを作成する予定です。



Regional Task Forces

China Task Force



委員長:
Xinmiao Chang
ファーウェイ

ミッション

当タスクフォースは、中国で事業を展開するGlobalPlatformメンバーに、中国における要件を特定してそれに合意するための専用プラットフォームを提供します。このグループはまた、中国の業界および標準化団体とも直接協力しています。



主な活動と成果

中国タスクフォースは、以下に取り組んでいます：

- 中国のさまざまな業界で全GlobalPlatformテクノロジーのフォーカスポイントとして機能し、それを促進する
- 中国内の多様なセクターにまたがるステークホルダーや組織団体との連携を特定し、確立する
- GlobalPlatformテクノロジーを中国の要件に合わせる (特にTEEロードマップと規格ワーキンググループ関連、ただしそれに限らない)
- 中国でのGlobalPlatformテクノロジーの普及と認証制度の拡大
- 機能とセキュリティの評価要件を調整し、関連する規格、コンプライアンス、および認証プログラムに関する情報をGlobalPlatform委員会に提供する
- 中国市場で関連する中国の特別なコンプライアンスおよび認証プログラムを特定する

Japan Task Force



委員長:
庭野栄一
NTT

ミッション

日本タスクフォースは、日本で事業を展開するGlobalPlatformメンバーが集まり、日本国内の特定市場セクターにおけるビジネス要件と機能要件について議論するフォーラムです。



主な活動と成果

日本タスクフォースは、以下に取り組んでいます：

- 日本国内でのGlobalPlatform活動の促進
- 重要生活機器連携セキュリティ協議会 (CCDS)、セキュアIoTプラットフォーム協議会、次世代ICカードシステム研究会 (NICSS)、電波産業会 (ARIB)、JASPAR (Japan Automotive Software Platform and Architecture)、アジアICカードフォーラム (AICF)、アジアパシフィック・スマートカード協会 (APSCA) などを含む、日本およびアジアの業界団体や標準化団体との情報交換
- 日本国内のモバイル、IoT (モノのインターネット)、その他の主要セクターにGlobalPlatformを紹介し、当団体が国内の活動に貢献できる分野を特定

私たちのサービス

認証

認証スキームは、信頼できるデジタルサービスとデバイスを可能とするための協力的でオープンなエコシステムを促進します

GlobalPlatformは、製品ベンダーがGlobalPlatformの規格や市場固有のコンフィグレーション、保護プロファイルへの準拠を示すことができる、機能とセキュリティの認証制度を運営しています。

国際的に認められたこのプログラムは独立して運営され、EMVCo、GSMA、およびその他の業界団体が参照しています。認証製品のテストは、GlobalPlatformが承認したラボによってグローバルに提供されます。

サービスプロバイダーは、製品がセキュリティとプライバシーのニーズを満たしていることの証として、認証スタンプを要求できます。ラボおよびテストツールのサプライヤーは、GlobalPlatformと協力して認証を受け、GlobalPlatform認証のテストサービスを提供できます。



トレーニング

GlobalPlatform主導のトレーニングセッションでは、特定のセキュリティ・テクノロジーの実際の応用について詳しく説明します。

GlobalPlatformでは、セキュアエレメント (SE)、高信頼実行環境 (TEE)、SEIPに焦点を当てたトレーニングコースを提供しています。また、ご要望に応じてカスタマイズされた社内トレーニングも提供しています。

モバイルeID (EUDI) 用SEのトレーニング

今年、当団体はSEトレーニングの提供範囲を拡大し、モバイルeID (EUDI) 用のSEを追加しました。このトレーニングの主な目的は、受講者に、モバイルウォレットならびに電子ID (eID) システムの全体像と、今日のデジタル環境におけるそれらの重要性を理解してもらうことです。



GlobalPlatform メンバーシップを 通じてデバイスセ キュリティの未来 を形作る

セキュリティ・エキスパートのコミュニティに参加して、新たなセキュリティ規格の開発を推進するとともに、新たなユースケースの出現に合わせた既存規格の進化に貢献しましょう。メンバーシップ特典には以下があります：

- 各企業のセキュリティの優先課題に対処する技術規格と標準を開発
- 将来の標準化ロードマップの開発に参加して、イノベーションの最前線に立つ
- 知識の共有と、開発中の作業文書へのアクセス
- さまざまな業界またはデバイス・エコシステムにおけるセキュリティ専門家のコミュニティと人脈を築く

メンバー企業・団体

American Express

Analog Devices

Apple Inc.

Applus+

ARM Limited

AT&T

Bactech

**Beijing Unionpay Card
Technology Co., Ltd.**

Beijing ZhiHuiYunCe (DPLS
Lab) Equipment Technology
Co., Ltd

BrightSight BV

**BSI - Bundesamt fuer
Sicherheit in der
Informationstechnik**

CARIAD SE

Cartes Bancaires

CEA - Leti

Chutian Dragon Co., Ltd.

Cisco

COMPRION GmbH

Dai Nippon Printing Co., Ltd

Dekra

Department of Defense

**Deutsche Telekom Security
GmbH**

Digital Cubes

Discover Financial Services

Eastcompeace Technology
Co., Ltd

Ericsson AB

Feitian Technologies Co., Ltd

FeliCa Networks, Inc.

FIME

Galitt

Giesecke+Devrient GmbH

Google

HID Global

Honor Device Co., Ltd

**Huawei Device (Dongguan)
Co., Ltd.**

IDEMIA

Infineon Technologies AG

Institute For Information
Industry

Institute for Information
Industry

Intel

Internet of Trust S.A.S.

JCB Co. Ltd.

Kaspersky Lab

Kigen (UK) Lda

KONA International

MaskTech International
GmbH

Mastercard

MK Smart JSC

Monetech

Nextendis

NTT Corporation

NXP Semiconductors

Oracle

Orange

PQShield

**Qualcomm Technologies
Inc.**

Quarkslab

Rambus

Riscure BV

Safepay Systems Ltd.

Samsung Electronics

Samsung SDS

SERMA Safety & Security

Shanghai Fudan
Microelectronics Group

SK Telink

Spreadtrum Communications
(Shanghai) Co., Ltd.

STMicroelectronics

Synapse Mobile Networks s.a.

TELUS Communications
Company

Thales

Thales UK

T-Mobile

Toshiba Corporation

TrustCB B.V.

Trustonic

UBIVELOX

UL (Underwriters
Laboratories)

Valid Soluciones Tecnológicas

Verizon Wireless

Visa

Watchdata System

Winbond Technology Ltd

Woven by Toyota

Wuhan Tianyu Information
Industry, Co., Ltd.

XardPay

XCure Corp.

Xiaomi

Zwipe Germany GmbH

* 太字はフルメンバー企業

業界パートナー

L'Agence nationale de la sécurité des systèmes d'information (ANSSI)	ioXt Alliance
L'Alliance pour la Confiance Numérique (ACN)	ISO
APSCA	Java Card Forum
Asia IC Card Forum	NFC Forum
AUTO-ISAC	NICSS
AUTOSAR	NIST
Car Connectivity Consortium	OMA SpecWorks
CCDS	Mobey Forum
CEN	One M2M
EMVCo	PTCRB
European Payments Council	RISC-V
EUROSMART	SAE International
ETSI	Secure Identity Alliance
FIDO Alliance	Secure Technology Alliance
Fira Consortium	Smart Ticketing Alliance
Global Certification Forum	TAF
GSMA	Trusted Computing Group
IFAA	Trusted Connectivity Alliance
Industrial Internet Consortium	Trusted Platform
Institute for Information Industry	W3C
	Wireless Power Consortium

「NXPは、GlobalPlatformが提供する技術標準とコンプライアンスおよび認証プログラムをベースに、よりスマートな世界に向けてセキュアな接続を可能にする技術を開発しています。私たちはGlobalPlatformの業界パートナーとの積極的な協力を通して、オープンでスケーラブル、セキュアな標準を開発し、エコシステムを形作って、お客様に新しいサービスを提供しています。GlobalPlatformは、セキュアなデジタルサービスの標準化組織となっており、NXPは、より安全でスマートな未来の世界を創造するためにさらに貢献していくつもりです」

Andreas Lessiak、NXPシニアディレクター、セキュアエレメントSW責任者

「DEKRAでは、製品、プロセス、およびサービスに対する信頼を育むサイバーセキュリティ標準を維持することに専念しています。サイバーセキュリティ認証は、単なる専門知識の象徴ではありません。信頼を構築し維持するために不可欠な要素です。SESIPのような認証は、技術的な習熟度を示すだけでなく、IoTデバイスとプラットフォームのセキュリティを確保する厳格な基準へのコミットメントを表しています。IoTエコシステム固有の課題に対処するSESIPは、従来のサイバーセキュリティ・フレームワークを超越しており、接続されたデバイスのセキュリティを評価・認証するためのスケーラブルで効率的なアプローチを提供します。接続されたデバイスは広範囲にわたり、時には展開時点で見過ごされるため、しばしば攻撃に対して脆弱です。このアプローチは、クライアントがコスト効率の高いサイバーセキュリティ評価方法を見つけ、市場のベストプラクティスに沿ったセキュリティレベルを確立するのに役立ちます」

Rubén Lirio、Dekraサイバーセキュリティサービス責任者

「GlobalPlatformのメンバーとしての私たちの主な焦点は、モバイル決済とセキュアエレメント (SE) テクノロジーです。GlobalPlatform認証テストラボになるために、当社ではテストシステムをGlobalPlatformの要件に合わせることに取り組んでいきます。タスクフォースとSE委員会に参加することで、世界の決済業界に役立つ技術のさらなる向上に貢献できることを願っています」

Guifu Fan、BCTCゼネラルマネージャー



→ globalplatform.org

